

大阪歯科大学大学院
医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

2025年度シラバス(授業計画)

科目区分		授業科目	ページ
基礎科目		研究方法論	1
		医療統計学特論	2
		論文作成法	3
		医療データ処理論	4
		英会話特論	5
		英語表現特論	6
		国際医療保健論	7
		医療保健教育学Ⅰ	8
		デジタルデンティストリー学	9
専門科目	口腔保健基礎学分野	医療保健基礎学特論	10
		医療保健基礎学特論演習	11
	医療保健教育学分野	医療保健教育学Ⅱ	12
		医療保健教育学実習	13
	医療保健政策学分野	医療保健政策特論	14
		医療保健政策特論演習	15
	医療保健政策学分野	口腔機能回復学特論	16
		口腔機能回復学特論実習	17
	先進口腔保健学分野	先進口腔保健学	18
		先進口腔保健学実習	19
	口腔材料学分野	口腔材料学特論	20
		口腔材料学特論演習	21
	先進口腔工学分野	先進口腔工学	22
		先進口腔工学実習	23
専門研究		専門研究	24

基礎科目:11単位 ※ すべて必修科目とする。	
「研究方法論」	1 単位
「医療統計学特論」	1 単位
「論文作成法」	1 単位
「医療データ処理論」	2 単位
「英会話特論」	1 単位
「英語表現特論」	1 単位
「国際医療保健論」	2 単位
「医療保健教育学Ⅰ」	1 単位
「デジタルデンティストリー学」	1 単位

専門科目:6単位以上 ※ 1分野 2科目を選択必修科目，4科目以上を選択科目とする。		
「医療保健基礎学特論」	1 単位	医療保健基礎学分野
「医療保健基礎学特論演習」	1 単位	
「医療保健教育学Ⅱ」	1 単位	医療保健教育学分野
「医療保健教育学実習」	1 単位	
「医療保健政策特論」	1 単位	医療保健政策学分野
「医療保健政策特論演習」	1 単位	
「口腔機能回復学特論」	1 単位	口腔機能回復学分野 ※ 歯科衛生士のみ
「口腔機能回復学特論実習」	1 単位	
「先進口腔保健学」	1 単位	先進口腔保健学分野 ※ 歯科衛生士のみ
「先進口腔保健学実習」	1 単位	
「口腔材料学特論」	1 単位	口腔材料学分野 ※ 歯科技工士のみ
「口腔材料学特論演習」	1 単位	
「先進口腔工学」	1 単位	先進口腔工学分野 ※ 歯科技工士のみ
「先進口腔工学実習」	1 単位	

専門研究:14単位以上 ※ 必修科目とする。	
「専門研究」	1 4 単位

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	研究方法論									
科目担当	○糸田 昌隆、橋本 正則、神 光一郎、中塚 美智子									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	医療保健学において専門性の高い知識を身に付け、深い知識や将来の研究能力を培うために研究方法を学ぶ科目である。すなわち、研究計画の立案、研究方法、最新の研究に関する情報の収集及び発表までの流れを身に付けることを学習する。									
授業の到達目標	医療保健学の分野で現在において、明らかにされていないことがらを研究対象とし解明していく。									
	1	研究テーマを明らかに説明できる。								
	2	研究デザインについて、最新の研究も交えて説明できる。								
	3	テーマに沿った最新の情報を説明できる。								
	4	研究のまとめ並びに解釈を説明できる。								
授業計画	5	研究の発表・公表の仕方を説明できる。								
	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限	場 所		
	1	研究概説	講義	中塚	4月15日	火	6	天	研修センター	
	2	研究テーマの設定	講義	中塚	4月22日	火	6	天	研修センター	
	3	実験施設並びに実験器具の説明	講義	橋本(正)	5月13日	火	6	天	研修センター	
	4	学術論文の検索と検討	講義	橋本(正)	5月20日	火	6	天	研修センター	
	5	研究計画の立案と研究計画書の作成	講義	神	5月27日	火	6	天	研修センター	
	6	研究データの収集と解析とまとめ	講義	橋本(正)	6月3日	火	6	天	研修センター	
	7	研究結果の発表の方法	講義	糸田	6月10日	火	6	天	研修センター	
成績評価の方法	8	論文の作成方法並びに投稿	講義	糸田	6月17日	火	6	天	研修センター	
	課題レポート、討議参加で総合評価する。 評価の比率は、課題レポート0.5。討議参加0.5とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	自分が関心のある分野の学術論文を1編検索し、概略をまとめてください。									
使用テキスト	配付資料									
参考書(参考資料等)	適宜紹介する。									
その他 (受講生への要望等)										

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	医療統計学特論						
科目担当	森 淳秀						
授業コード							
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修						
単位数	1単位						
授業の概要と方法	医学研究に用いる統計学のうち、ベイズ推定や確率過程などに関連しない基本的な部分について、各自が今後必要に応じて知識を身につけていくことができるようにする。そのために比率・平均・相関係数・順位・ハザード・オッズ比などの基礎知識について講義を行う。						
授業の到達目標	比率・平均・相関係数・順位・ハザード・オッズ比を用いた典型的な問題解決ができる。						
	1	比率の検定と平均の検定を区別して用いることができる。					
	2	群間比較を伴う研究計画の作成と解析手法の選択ができる。					
	3	表計算ソフトを駆使して様々な統計解析を行うことができる。					
	4	順位と場合の数によってノンパラメトリック法を説明することができる。					
授業計画	5	生存曲線のハザード・多変量解析のオッズ比を説明することができる。					
	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限 場 所
	1	適合度と独立性のカイ二乗検定	講義	森	6月16日	月	6 天 研修センター
	2	比率と比率の差のZ検定	講義	森	6月23日	月	6 天 研修センター
	3	相関係数と対応のある差のt検定	講義	森	6月30日	月	6 天 研修センター
	4	表計算ソフトの活用	講義	森	7月7日	月	6 天 研修センター
	5	研究計画と群間比較	講義	森	7月14日	月	6 天 研修センター
	6	ノンパラメトリック法	講義	森	8月2日	土	4 天 研修センター
	7	生存曲線	講義	森	8月4日	月	6 天 研修センター
	8	多変量解析	講義	森	8月25日	月	6 天 研修センター
成績評価の方法	講義中に行う小テスト50%と課題50%で評価します。						
授業外で行うべき学修	2回目からは復習(1時間程度)をしたうえで受講してください。						
使用テキスト	なし。						
参考書(参考資料等)	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学						
	新谷歩「みんなの医療統計(KS医学・薬学専門書)」講談社(2016)						
	新谷歩「みんなの医療統計 多変量解析編(KS医学・薬学専門書)」講談社(2017)						
その他 (受講生への要望等)	4回目以降はエクセルなどの表計算ソフトがインストールされたPCが必要です。研究ではEZRを使えるようになることが望ましいので、上の参考書で自習できるレベルを目指してください。						

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

授業科目	論文作成法						
科目担当	大澤 茂男						
授業コード							
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修						
単位数	1単位						
授業の概要と方法	学術論文(日本語)の書き方を実践的に学んでいく。まずは日本語の「文」の構造について学ぶ。続いて「文」の連続体としての「文章」の構成について学ぶ。そして文章の一ジャンルである「論文」について、実例を参照しながら学んでいく。「論文」の表現、構成、引用や注記、表やグラフの扱い方など、実際の論文を参照しながら学ぶ。 受講者の文章表現活動を重視し、演習的な活動を中心に展開する。						
授業の到達目標	日本語の「論文」を書くための知識、スキル、態度を身につける。						
	1	日本語の構成単位「語」「文節(成分)」「文」「文章」について理解し、文章作成に生かすことができる。					
	2	日本語の学術論文の表現や構成について理解し、論文作成に生かすことができる。					
	3	日本語の論理的な文章を書くことができる。					
	4	日本語の特徴をつかみ、学究活動の中で生かすことができる。					
授業計画	5	日々の生活の中で日本語の「言葉の力」を磨いていく態度を養う。					
	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限 場 所
	1	日本語の「文」について学ぶ。	講義・演習	大澤	4月7日	月	6 天 研修センター
	2	日本語の文章構成について学ぶ。	講義・演習	大澤	4月14日	月	6 天 研修センター
	3	学術論文の表現や構成について学ぶ。	講義・演習	大澤	4月21日	月	6 天 研修センター
	4	論理的な構成の文章を書く。	講義・演習	大澤	5月12日	月	6 天 研修センター
	5	当該課程の修士論文に学ぶ。①	講義・演習	大澤	5月19日	月	6 天 研修センター
	6	当該課程の修士論文に学ぶ。②	講義・演習	大澤	5月26日	月	6 天 研修センター
	7	論文の構成案を作成する。	講義・演習	大澤	6月2日	月	6 天 研修センター
	8	構成案を発表、共有する。全体のまとめ。	講義・演習	大澤	6月9日	月	6 天 研修センター
成績評価の方法	各回に課すワークによる成果物の評価(25%)、授業内の活動状況評価(25%)、作成した論文構成案の評価(50%)を総合する。						
授業外で行うべき学修	授業内のワークをもとに、各回において提示されたその発展的な課題に取り組む。						
使用テキスト	市販のテキストは用いず、担当教員自作の資料と演習問題、ワークシートを用いる。						
参考書(参考資料等)	本多勝一『【新版】日本語の作文技術』(朝日文庫)						
	岩淵 悦太郎『悪文 伝わる文章の作法』(角川ソフィア文庫)						
	木下 是雄『理科系の作文技術』(中公新書 624)						
その他 (受講生への要望等)	一部に受講生同士のペアワークを取り入れるので、その取り組みも含めて、能動的、協働的な受講態度で臨んでほしい。また、後半の論文構成案作成には自身の問題意識に基づくテーマ設定を求めるので、修士課程において追究したい研究の方向性について考えながら授業に参加してほしい。						

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	医療データ処理論							
科目担当	辻林 徹、森 淳秀、木村満晃							
授業コード								
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修							
単位数	2単位							
授業の概要と方法	大学院修士課程における研究遂行上必要となる、データ処理の基礎を講義と演習を通じて学ぶ。演習には楠葉学舎のコンピュータ実習室に備え付けのデスクトップパソコンを使用しながら行う。多数のデータを適切に扱う際に必要な統計学のセンスについても講義する。							
授業の到達目標	1	既存のコンピュータ・ソフトを使って、データを可視化できる。						
	2	既存のコンピュータ・ソフトを使って、データの分析ができる。						
	3	データ分析にプログラミング言語(Python)を使うことができる。						
	4							
	5							
授業計画	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時限	場 所
	1	データサイエンスの応用事例	講義	辻林	4月12日	土	1	楠 コンピュータ実習室
	2	コンピュータを用いた分析	講義	辻林	4月12日	土	2	楠 コンピュータ実習室
	3	「私が自動化したい操作」(プレゼン)	演習	辻林	4月26日	土	1	楠 コンピュータ実習室
	4	Pythonによるプログラミングの基礎(1)	演習	辻林	4月26日	土	2	楠 コンピュータ実習室
	5	データ分析の基礎(1)	講義	辻林	5月10日	土	1	楠 コンピュータ実習室
	6	データ分析の基礎(2)	演習	辻林	5月10日	土	2	楠 コンピュータ実習室
	7	統計でウソをつかないために(1)	講義	森	5月31日	土	1	楠 コンピュータ実習室
	8	統計でウソをつかないために(2)	講義	木村	5月31日	土	2	楠 コンピュータ実習室
	9	Pythonによるプログラミングの基礎(2)	演習	辻林	6月7日	土	1	楠 コンピュータ実習室
	10	Pythonによるプログラミングの基礎(3)	演習	辻林	6月7日	土	2	楠 コンピュータ実習室
	11	データサイエンスの手法(1)	講義	辻林	6月14日	土	1	楠 コンピュータ実習室
	12	データサイエンスの手法(2)	演習	辻林	6月14日	土	2	楠 コンピュータ実習室
	13	Pythonによるデータ処理(1)	演習	辻林	6月21日	土	1	楠 コンピュータ実習室
	14	Pythonによるデータ処理(2)	演習	辻林	6月21日	土	2	楠 コンピュータ実習室
	15	まとめ	講義	辻林	6月21日	土	3	楠 コンピュータ実習室
成績評価の方法	提出課題(約60%)とプレゼン・討論など(約40%)							
授業外で行うべき学修	演習時間内に仕上げられなかった課題は、自宅で仕上げること。							
使用テキスト	データサイエンス入門 第2版(竹村影通 他著、学術図書出版、2021)							
参考書(参考資料等)	Python「超」入門 第2版(鎌田 正浩 著、SBクリエイティブ、2022)							
	Pythonによる機械学習入門(システム計画研究所 編、オーム社、2016)							
	Pythonによるデータマイニングと機械学習(藤野 厳 著、オーム社、2019)							
その他 (受講生への要望等)	テキストは必ず用意して下さい。参考書は各自の興味に応じて準備して下さい。「超入門」は非常に親切に書かれています。							

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	英会話特論									
科目担当	藤田 淳一									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	医療系の研究者としての英会話力を身に付ける科目である。学会等で英語によるプレゼンテーションを行うには歯学英语(専門用語やフレーズ)をスムーズに話せるように日頃から練習する必要がある。この授業では、チェアを使ったロールプレイングや通訳者の訓練で用いられるクイックレスポンスを通して基本的な歯科英語の語彙を身に着ける。									
授業の到達目標										
	1	歯科医学の基礎的な語彙や表現を身に付ける。								
	2	英語で簡単なプレゼンテーションができる。								
	3									
	4									
	5									
授業計画	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時限	場 所		
	1	Reception, Calling and Guiding	演習	藤田(淳)	4月10日	木	6	天	研修センター	
	2	Medical Interview	演習	藤田(淳)	4月17日	木	6	天	研修センター	
	3	Oral Care Interview, Basic Procedures	演習	藤田(淳)	4月24日	木	6	天	研修センター	
	4	Periodontal Probing, Scaling	演習	藤田(淳)	5月8日	木	6	天	研修センター	
	5	Brushing Instructions	演習	藤田(淳)	5月15日	木	6	天	研修センター	
	6	Stain Removal, Teeth Whitening	演習	藤田(淳)	5月22日	木	6	天	研修センター	
	7	Fluoride Application, X-ray	演習	藤田(淳)	5月29日	木	6	天	研修センター	
	8	Impression Taking, Working with a Dental Technician	演習	藤田(淳)	6月5日	木	6	天	研修センター	
成績評価の方法	授業での取り組み及び撮影したロールプレイング動画									
授業外で行うべき学修	シャドーリーディングによりヒアリングと発音の練習を行う									
使用テキスト	「歯科衛生士英語ワークブック」 山本一世 監修、藤田淳一 他著 永末書店									
参考書(参考資料等)	「歯科医学英語ワークブック」 金芳堂									
その他 (受講生への要望等)	英語でプレゼンテーションをする時は、アイコンタクトや声のピッチなどが大事です。授業でしっかり練習したいと思います。積極的な参加を期待しています。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

授業科目	英語表現特論									
科目担当	藤田 淳一									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	英文の科学論文の作成方法を中心に学習する科目である。英語の文書作成能力の向上を図るとともに、英語論文の論文構成と記載方法についての技能を修得する。また、英語論文の投稿方法についても学修し、論文査読者の意見に対しての修正、返信意見の記載方法についても、例を挙げて演習する。また、海外の研究者とのメールや手紙の記載方法についても例を挙げて学修する。									
授業の到達目標	1	歯科医学の基礎的な語彙や表現を身に付ける。								
	2	英語でessayが書ける。								
	3									
	4									
	5									
授業計画	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時限	場 所		
	1	Introduction	演習	藤田(淳)	6月26日	木	6	天	研修センター	
	2	Cause and Effect	演習	藤田(淳)	7月5日	土	1	天	研修センター	
	3	Pros and Cons	演習	藤田(淳)	7月10日	木	6	天	研修センター	
	4	Comparison and Contrast	演習	藤田(淳)	7月12日	土	1	天	研修センター	
	5	Process	演習	藤田(淳)	7月17日	木	6	天	研修センター	
	6	Classification	演習	藤田(淳)	7月19日	土	1	天	第2教室	
	7	Review (Cause and Effect/Pros and Cons)	演習	藤田(淳)	7月24日	木	6	天	研修センター	
	8	Review (Comparison/Process/Classification)	演習	藤田(淳)	7月26日	土	2	天	研修センター	
成績評価の方法	授業での取り組み及び英語によるプレゼンテーション									
授業外で行うべき学修	シャドーリーディングによりヒアリングと発音の練習を行う									
使用テキスト	「Presenting About! - 英語でプレゼン」 毘沙門書院									
参考書(参考資料等)	「プレゼンでわかる歯科英語」 浪速社									
その他 (受講生への要望等)	日本人の書く英文は分かりにくいと言われています。その原因は英語的な発想で書いていないからです。授業では、様々なエッセイを書くことにより、この英語的発想を身に付けてください。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	国際医療保健論									
科目担当	○島田 明子、渋谷 光美、水谷 惟紗久、赤司 征大、衛藤 勝也、末光 伊芙季									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修									
単位数	2単位									
授業の概要と方法	歯科医療に関する研究者・教育者としての国際的な見識を養成する科目である。医療、歯科医療のほかにも、国際的な政治、経済、歴史などについて学修し、国際的に活躍できる人材を養成する。また、各課題を決めて、特定の国の歯科医療情勢や歯医療分野の国際情勢等について、調査し、学生間でのプレゼンテーションと討議を行うことで、研究者としての情報収集能力や情報提示能力を養成する。									
授業の到達目標	歯科医療に携わる国際的な研究者・教育者としての資質を身に付ける。									
	1	海外の政治・経済を理解する。								
	2	海外の医療・保健の歴史の変遷を説明できる。								
	3	海外の医療・保健・福祉を説明できる。								
	4	国際社会の課題を理解する。								
	5	医療保健に関する国際支援を説明できる。								
	6	国際医療保健の課題を説明できる。								
授業計画	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限	場 所		
	1	海外における医師、コメディカル	講義	渋谷	5月30日	金	6	天	研修センター	
	2	アメリカにおける歯科医師、歯科医療	講義	赤司	6月6日	金	6	天	研修センター	
	3	国際社会における貧困の問題	講義	渋谷	7月12日	土	2	天	研修センター	
	4	海外における歯科技工士、歯科技工産業	講義	衛藤	6月19日	木	6	天	研修センター	
	5	日本における医療、保健の国際化	講義	末光	7月4日	金	6	天	研修センター	
	6	近代医療制度の成り立ち—18世紀イギリスを中心に	講義	水谷	7月5日	土	2	天	研修センター	
	7	欧州、日本における歯科医療制度の現状と課題(1)	講義	水谷	7月5日	土	3	天	研修センター	
	8	政府開発援助と民間支援団体①	講義	渋谷	8月23日	土	1	天	第2教室	
	9	政府開発援助と民間支援団体②	講義	渋谷	8月23日	土	2	天	第2教室	
	10	欧州、日本における歯科医療制度の現状と課題(2)	講義	水谷	8月2日	土	2	天	研修センター	
	11	医療費抑制、疫学的根拠、高齢化の展望	講義	水谷	8月2日	土	3	天	研修センター	
	12	海外における歯科保健制度の課題調査①	演習	島田	8月6日	水	6	天	研修センター	
	13	海外における歯科保健制度の課題調査②	演習	島田	8月7日	木	6	天	研修センター	
	14	今後の国際医療保健について①	演習	島田	8月8日	金	6	天	研修センター	
	15	今後の国際医療保健について②	演習	島田	8月20日	水	6	天	研修センター	
成績評価の方法	口述試験、課題レポート及び討議参加で総合評価する。 評価の比率は、口述試験 0.4、課題レポート 0.3、討議参加 0.3 とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	講義内容を各自で復習するようにしてください。 課題調査は図書館やインターネット等を利用して実施してください。									
使用テキスト	授業中の配付資料									
参考書(参考資料等)	『国際保健医療学』杏林書院									
	『医療制度改革の国際比較』勁草書房									
その他 (受講生への要望等)	現在グローバル化は加速し、医療に関して海外での活動も視野に入れる必要も生じます。国際的な医療人となるよう努力してください。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	医療保健教育学 I									
科目担当	○島田 明子、柿本 和俊、益野 一哉									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	高等教育に関する基礎的な知識およびスキルを学修し、大学教員としての素養を養成する科目である。授業内容としては、法律や規則に基づく高等教育機関のあり方、学生教育におけるアウトカムズ、学習・教育到達目標の設定、シラバスの作成、アクティブ・ラーニング、ポートフォリオ、ルーブリックについて理解を深める。授業の一部に演習と取り入れて、自身の講義を振り返り、改変を行うなど、体験的な学習も行い、実践力を身に付ける。									
授業の到達目標	大学教員としての基本的な資質を身に付ける。									
	1	大学と大学院教育の目的と現状について説明できる。								
	2	大学教育の制度について説明できる。								
	3	大学の教育課程の構成を説明できる。								
	4	大学学生の教育と指導方法を説明できる。								
	5	シラバスの構成について理解できる。								
	6	学生教育の評価法を説明できる。								
授業計画	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時限	場 所		
	1	大学教育の制度	講義	柿本	8月26日	火	6	天	研修センター	
	2	大学教育課程の構築と設備	講義	柿本	7月3日	木	6	天	研修センター	
	3	大学と大学院教育の目的と現状	講義	島田	7月9日	水	6	天	研修センター	
	4	シラバスの作成	講義	島田	7月16日	水	6	天	研修センター	
	5	問題解決法とアクティブ・ラーニング	講義	島田	7月23日	水	6	天	研修センター	
	6	教育評価の方法	講義	益野	7月31日	木	6	天	研修センター	
	7	Teaching Experiment 1	演習	島田	8月5日	火	6	天	研修センター	
	8	Teaching Experiment 2	演習	島田・柿本・益野	8月21日	木	6	天	研修センター	
成績評価の方法	課題レポートと討議参加で総合評価する。 評価の比率は、課題レポート 0.5、討議参加 0.5 とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	講義内容を各自で復習するようにしてください。									
使用テキスト	授業中の配付資料									
参考書(参考資料等)	「アクティブラーニング入門」 産業能率大学出版部									
	「大学とは何か」 岩波書店									
	「現代の大学・高等教育」 玉川大学出版部									
	「大学教員のためのルーブリック評価入門」 玉川大学出版部									
	「発想法 一創造性開発のために」 中央公論新社									
その他 (受講生への要望等)	自らが学習してきた経験を振り返りながら学習してください。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

授業科目	デジタルデンティストリー学									
科目担当	○藤井 孝政、樋口 鎮央、秋山 広徳、荒井 昌海、中野田 紳一									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	近年急速に進歩しているデジタル技術を用いた歯科医療を学修する科目である。歯科医療に利用されているデジタル技術について、講義を中心に学習する。この科目では、CAD/CAMテクノロジー、光学印象についてデジタル技術の基礎から学修する。更に、歯科におけるデジタルエックス線、コンピュータ断層撮影法(CT)、核磁気共鳴画像法(MRI)の応用、コンピュータを用いた顎機能検査法等について学修する。									
授業の到達目標	デジタル技術の歯科医療への応用について、その現状と将来展望について学修する。									
	1	歯科医療におけるデジタル技術の発展について説明できる。								
	2	デジタル技術の歯科医療への応用について説明できる。								
	3	歯科用デジタル機器を理解し、対応を説明できる。								
	4	デジタル技術の臨床応用の現状について説明できる。								
	5	歯科医療におけるデジタル技術の将来展望について説明できる。								
授業計画	6	エックス線、CT、MRIのデジタル画像データの応用について説明できる。								
	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限	場 所		
	1	歯科で用いられるデジタル機器	講義	藤井	7月1日	火	6	天	研修センター	
	2	インプラント治療におけるデジタル技術の現状	講義	藤井	7月22日	火	6	天	第2教室	
	3	歯科用CAD/CAMの臨床応用の現状	講義	樋口	7月19日	土	2	天	第2教室	
	4	歯科衛生士、歯科技工士としてのデジタル技術の関わりについて	講義	樋口	7月19日	土	3	天	第2教室	
	5	歯科におけるデジタル技術の利用	講義	荒井	7月26日	土	3	天	研修センター	
	6	歯科医療におけるデジタル技術の将来展望	講義	荒井	7月26日	土	4	天	研修センター	
	7	エックス線、CT、MRIのデジタル画像データの応用	演習	秋山	7月29日	火	6	天	研修センター	
成績評価の方法	8	デジタル技術を利用したデンタルデザイン	講義	中野田	8月2日	土	1	天	研修センター	
	課題レポート及び討議参加で総合評価する。評価の比率は、課題レポート 0.5、討議参加 0.5 とする。授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	講義内容を各自で復習するようにしてください。									
使用テキスト	授業中の配付資料									
参考書(参考資料等)	The CAD/CAMジルコニアセラミックス 医歯薬出版 最新CAD/CAM歯冠修復治療 医歯薬出版 デジタルデンティストリーイヤーブック クインテッセンス出版									
その他 (受講生への要望等)	積極的に新しい技術を学修する態度を身に付け、今後の研究開発に取り組んでください。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	医療保健基礎学特論										
科目担当	○中塚 美智子、橋本 正則、神 光一郎、首藤 崇裕、和唐 雅博										
授業コード											
開講年次・学科・授業区分	1年・後期・選択										
単位数	1単位										
授業の概要と方法	基礎歯科医学及び疫学研究がこれまで歯科医学の発展に果たしてきた役割について学び、臨床歯科医学への応用について専門的な立場から学修する。また、当該分野の最新の研究について理解を深める。更に疫学調査と統計分析の歯科医療への貢献並びに重要性についても学修する。										
授業の到達目標	基礎歯科医学の意義、臨床歯科医学への応用について専門的な立場から理解する。また、歯科医療における疫学調査と統計分析の重要性について理解する。										
	1	口腔解剖学の歯科医学における立場について、先行研究も交えて説明できる。									
	2	歯科理工学の現状及び将来性について、最新の研究も交えて説明できる。									
	3	骨代謝学・再生歯科医学の現状及び将来性について、最新の研究も交えて説明できる。									
	4	病気の成り立ちから進展並びに転帰について説明できる。									
授業計画	5	歯科医療における疫学研究の重要性及び方法について説明できる。									
	回	内 容			形式	教員	月 日	曜日	時 限	場 所	
	1	天然歯及び口腔インプラント周囲で惹起される組織の変化			講義	首藤	10月2日	木	6	天 研修センター	
	2	歯科疫学調査及び統計の意義及び方法論			講義	神	10月9日	木	6	天 研修センター	
	3	口腔に発生する疾患の変遷と現状			講義	和唐	10月11日	土	1	天 研修センター	
	4	口腔と全身疾患との関連			講義	和唐	10月11日	土	2	天 研修センター	
	5	歯科材料の変遷			講義	橋本(正)	10月30日	木	6	天 研修センター	
	6	ナノ材料の有用性及び将来性			講義	橋本(正)	11月6日	木	6	天 研修センター	
	7	口腔解剖学の歯科医学における立場			講義	中塚	12月10日	水	6	天 研修センター	
授業計画	8	歯及び歯列弓形態の三次元解析の基礎			講義	中塚	12月17日	水	6	天 研修センター	
	課題レポートと討議参加で総合評価する。 評価の比率は、課題レポート 0.5、討議参加 0.5 とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。										
	授業外で行うべき学修										
	自分が関心のある分野の学術論文を1編検索し、概略をまとめてください。										
	使用テキスト										
	配付資料										
	参考書(参考資料等)	「新口腔病理学」 医歯薬出版									
その他 (受講生への要望等)	医療保健基礎学を専攻する学生は必ず受講してください。 積極的に新しい知識を学修する態度を身に付けてください。										

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	医療保健基礎学特論演習									
科目担当	○中塚 美智子、橋本 正則、神 光一郎、首藤 崇裕、和唐 雅博									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年後期～2年前期・選択									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	医療保健基礎学特論で学修した内容を基に、基礎歯科医学や疫学研究の発展につながるような研究について、臨床応用も視野に入れつつ専門的な立場から討議する。また、基礎歯科医学分野の学術論文の抄読を行い、当該分野における最新の研究について理解を深めるとともに、実際に研究計画を作成し遂行するための手法について学修する。									
授業の到達目標	基礎歯科医学分野の学術論文を読みこなして当分野での最近の研究の動向を理解し、内容について討議できる。また、当該分野での研究を行う上での基本的計画や手法について理解する。									
	1	口腔解剖学分野の学術論文を読み、研究の概略及び要旨について発表できる。								
	2	歯科理工学分野の学術論文を読み、研究の概略及び要旨について発表できる。								
	3	骨代謝学・再生歯科医学の学術論文を読み、研究の概略及び要旨について発表できる。								
	4	病気の成り立ちから進展及び転帰に関する概略及び要旨について発表できる。								
	5	歯科における疫学研究に関する学術論文を読み、概略及び要旨について発表できる。								
授業計画（1年生） 後期開講 2025年10月～2026年3月	回	内 容	形式	教員	月 日	曜日	時間	場 所		
	1	口腔解剖学分野の学術論文の検索方法並びに学会動向	演習	中塚	1月7日	水	6 天	研修センター		
	2	口腔解剖学分野の学術論文の読解	演習	中塚	1月21日	水	6 天	研修センター		
	3	口腔解剖学分野の学術論文の抄読及び研究内容に関する討議	演習	中塚	1月28日	水	6 天	研修センター		
	4	口腔病理学分野のWHOの疾患分類の読解	演習	和唐	2月14日	土	3 天	研修センター		
	5	基礎歯科医学分野における分子生物学実験及び解析方法とその解説①	演習	首藤	2月20日	金	6 天	研修センター		
	6	基礎歯科医学分野における分子生物学実験及び解析方法とその解説②	演習	首藤	2月27日	金	6 天	研修センター		
	7	分子生物学的手法を用いた基礎歯科医学分野研究の学術論文の抄読及び研究内容に関する討議	演習	首藤	3月11日	水	6 天	研修センター		
授業計画（2年生） 前期開講 2025年4月～2025年9月	8	歯科理工学分野の最新の研究の動向	演習	橋本(正)	4月10日	木	6 天	第2教室		
	9	歯科理工学分野の学術論文の読解	演習	橋本(正)	4月24日	木	6 天	第1教室		
	10	歯科理工学分野の学術論文の抄読及び研究内容に関する討議	演習	橋本(正)	5月9日	金	6 天	第2教室		
	11	基礎歯科医学分野における疫学研究に関する最新の動向	演習	神	5月15日	木	6 天	第1教室		
	12	口腔保健学分野の学術論文の抄読及び研究内容に関する討議	演習	中塚	5月21日	水	6 天	研修センター		
	13	骨代謝学・再生歯科医学分野の最新の研究の動向	演習	首藤	6月11日	水	6 天	研修センター		
	14	骨代謝学・再生歯科医学分野の学術論文の読解	演習	首藤	7月5日	土	1 天	第2教室		
	15	骨代謝学・再生歯科医学分野の学術論文の抄読及び研究内容に関する討議	演習	首藤	7月5日	土	2 天	第2教室		
成績評価の方法	実習の作成物と課題レポートによって総合的に判断する。 評価の比率は、実習の作成物 0.5、課題レポート 0.5 とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	自分が関心のある分野の学術論文を3編検索し、内容が説明できるようにしておいてください。									
使用テキスト	配付資料									
参考書(参考資料等)	「WHO Classification Head and Neck Tumours」2017:IARC									
その他 (受講生への要望等)	医療保健基礎学分野を専攻する学生は必ず受講してください。 積極的に新しい技能を学修する態度を身に付けてください。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	医療保健教育学Ⅱ									
科目担当	○柿本 和俊、今井 弘一、和唐 雅博、藤井 孝政、中塚 美智子、藤田 暁、谷 亜希奈									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年・後期・選択									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	歯科医療に関する大学学部学生の方法について学修する科目である。「医療保健教育学Ⅰ」では、一般的な学生教育に関する知識を修得するが、この科目では、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士などの養成教育のこれまでの経緯や現状を主に講義によって学修する。特に、一般の学部とは異なる基礎実習や臨床実習における実数指導のあり方、多肢選択問題の作成方法やブラッシュアップ法等についても学修する。									
授業の到達目標	歯科医療職養成のための知識を修得する。									
	1	歯科医療職種教育制度を説明できる。								
	2	歯科医師教育を説明できる。								
	3	歯科衛生士教育を説明できる。								
	4	歯科医学関連教育の評価法を説明できる。								
授業計画	5	歯科医療職の卒後教育を説明できる。								
	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時間	場 所		
	1	我が国における歯科医学関連教育の歴史的变化	講義	和唐	10月4日	土	1	天	研修センター	
	2	歯科医師教育の現状	講義	今井(弘)	10月11日	土	3	天	研修センター	
	3	歯科医学関連教育の評価	講義	藤井	10月16日	木	6	天	研修センター	
	4	歯科医療職の卒後教育と教育の将来	講義	中塚	10月22日	水	6	天	研修センター	
	5	歯科医療職養成制度と教育関連法規	講義	柿本	11月15日	土	1	天	研修センター	
	6	多肢選択問題の作成法	講義	柿本	11月15日	土	2	天	研修センター	
	7	歯科技工士教育の現状	講義	藤田(暁)	11月20日	木	6	天	研修センター	
成績評価の方法	8	歯科衛生士教育の現状	講義	谷	11月27日	木	6	天	研修センター	
	講義時の質問に対する回答と課題レポートで総合評価する。評価の比率は、回答 0.5、課題レポート 0.5とする。授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	講義内容を各自で復習するようにしてください。									
使用テキスト	授業中の配付資料									
参考書(参考資料等)	令和5年版歯科医師国家試験出題基準									
	歯学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版									
	歯科衛生士教育コア・カリキュラムー教育内容ガイドライン 2022年度改訂版									
	令和4年版歯科衛生士国家試験出題基準									
	2023年版(令和5年版)歯科技工士国家試験出題基準									
その他 (受講生への要望等)	医療保健教育学分野を専攻する学生は、必ず受講すること。 教員を目指す科目です、将来の教員としてふさわしい学習態度で授業に臨んでください。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

授業科目	医療保健教育学実習									
科目担当	○柿本 和俊、今井 弘一、梶 貢三子、樋口 鎮央、藤田 暁、谷 亜希奈									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年後期～2年前期・選択									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	歯科医療に関する大学学部学生の教育方法についての調査と実習体験によって、歯科医療に関する学生教育に関する知識と技能を養成する科目である。歯科医療に関する大学学部学生の教育方法についての研究と開発の現状、大阪歯科大学以外での歯科医療関係の大学の教育について調査して知識を得るとともに比較検討する。更に、医療保健学部の学生教育に参加し、経験を整理して他分野専攻の学生を含めた学生間で討議する。									
授業の到達目標	歯科医療職を養成する教員としての実践力を養成する。									
	1	歯科医療職養成機関の教育の特色を説明できる。								
	2	歯科医療職養成のためのカリキュラムを作成できる。								
	3	歯科医療職養成のための基礎実習指導ができる。								
	4	歯科医療職養成のための臨床実習指導ができる。								
	5	歯科医療職の多肢選択問題を作成できる。								
	6	歯科医療に関する教育の課題について自分の考えを説明できる。								
授業計画（1年生） 後期開講 2025年10月～2026年3月	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限	場 所		
	1	歯科医学教育の3つのポリシー	講義	柿本	12月12日	金	6	天	研修センター	
	2	歯科医療職養成機関の調査	演習	今井(弘)	12月20日	土	3	天	研修センター	
	3	歯科医療職養成のためのカリキュラムの考え方	講義	柿本	1月9日	金	6	天	研修センター	
	4	歯科医療職養成のためのカリキュラムの作成	演習	柿本	1月16日	金	6	天	研修センター	
	5	歯科医療職養成機関の特色	討議	柿本・今井(弘)・ 梶・樋口・藤田 (暁)・谷	1月23日	金	6	天	研修センター	
	6	歯科医療職養成のためのカリキュラムの課題	討議	柿本・今井(弘)・ 梶・樋口・藤田 (暁)・谷	1月30日	金	6	天	研修センター	
	7	歯科医療職養成ための基礎実習指導①	講義	梶(DH) 樋口(DT)	2月6日	金	6	天	第2教室 (DH) 第1教室 (DT)	
授業計画（2年生） 前期開講 2025年4月～2025年9月	8	歯科医療職の多肢選択問題作成	演習	今井(弘)	4月12日	土	3	天	研修センター	
	9	歯科医療職の多肢選択問題のブラッシュアップ	討議	柿本・今井(弘)・ 梶・樋口・藤田 (暁)・谷	4月18日	金	6	天	第2教室	
	10	歯科医療職養成のための基礎実習指導②	実習	梶(DH) 樋口(DT)	5月26日	月	1	牧	チェア実習室(DH) 第2技工実習室(DT)	
	11	歯科医療職養成のための基礎実習指導③	実習	梶(DH) 樋口(DT)	5月26日	月	2	牧	チェア実習室(DH) 第2技工実習室(DT)	
	12	歯科医療職養成のための臨床実習指導①	講義	梶(DH) 藤田(暁)(DT)	6月20日	金	6	天・ 牧	[天]研修センター (DH) [牧]大学院講義室(DT)	
	13	歯科医療職養成のための臨床実習指導②	実習	梶(DH) 谷(DH)	7月8日	火	3	天	附属病院	
	14	歯科医療職養成のための臨床実習指導③	実習	梶(DH) 谷(DH)	7月8日	火	4	天	附属病院	
	13	歯科医療職養成のための臨床実習指導②	実習	藤田(暁)(DT)	7月11日	金	1	牧	牧・デジタル加工実習室	
	14	歯科医療職養成のための臨床実習指導③	実習	藤田(暁)(DT)	7月11日	金	2	牧	牧・デジタル加工実習室	
	15	歯科医療職養成のための実習指導	討議	柿本・今井(弘)・ 梶・樋口・藤田 (暁)・谷	7月25日	金	6	天	研修センター	
成績評価の方法	プレゼンテーション、討議参加で総合評価する。 評価の比率は、プレゼンテーション 0.5、討議 0.5とする。授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	十分な討議ができるように、時間内で充実した内容を提示できるプレゼンテーションを作成してください。									
使用テキスト	授業中の配付資料									
参考書(参考資料等)	令和5年版歯科医師国家試験出題基準									
	歯学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版									
	歯科衛生学教育コア・カリキュラムー教育内容ガイドライン 2022年度改訂版									
	令和4年版歯科衛生士国家試験出題基準									
その他 (受講生への要望等)	2023年版(令和5年版)歯科技工士国家試験出題基準									
	医療保健教育学分野を専攻する学生は、必ず受講すること。 学部学生に対しての教員としての態度を考えながら受講してください。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時
注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。
注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	医療保健政策特論							
科目担当	○神 光一郎、米澤 美保子、高井 裕二、武輪 敬心							
授業コード								
開講年次・学科・授業区分	1年・後期・選択							
単位数	1単位							
授業の概要と方法	我が国が少子高齢社会を迎えて久しい。国民が自らの健康づくりを推進し、活力ある質の高い生活を実現するためには、我が国の医療・保健・福祉に関する制度・施策と実践、その背景となる福祉国家の現状や変化、地域社会を基盤とした多職種連携のあり方等について把握、理解しておかなければならない。本授業では医療・福祉現場のみならず、地域の行政機関、保健、福祉の現場で活躍する医療専門職として必須である、医療保健福祉に関する制度・施策ならびに各専門職の機能、役割と多職種間の連携方法について理解することを目的とする。特に、最新の調査研究、統計データ、諸外国での取り組みを紹介し、視覚教材を活用することを通して理解を促すとともに、今後のあるべき姿、方向性についても議論する。							
授業の到達目標								
	1	国際比較を踏まえ、日本の社会福祉システムの特徴とその歴史的背景について概説できる。						
	2	日本における医療・保健・福祉の制度・施策と実践を説明できる。						
	3	医療・保健・福祉の専門職の種類、機能、役割と多職種連携について説明できる。						
	4	医療保険と公費医療について説明できる。						
授業計画	5	歯科保健医療における医療保健政策について概説できる。						
	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限	場 所
	1	わが国と世界の医療制度	講義	神	10月7日	火	6	天 研修センター
	2	日本の社会保障制度と歴史的背景	講義	米澤	10月14日	火	6	天 研修センター
	3	医療保健政策の実施主体	講義	神	10月21日	火	6	天 研修センター
	4	日本の社会保障制度に関する最近の動向	講義	米澤	10月28日	火	6	天 研修センター
	5	高齢者虐待の現状と予防策	講義	高井	11月4日	火	6	天 研修センター
	6	介護保険制度と地域包括ケアシステムの現状	講義	高井	11月11日	火	6	天 研修センター
	7	こどもの権利擁護に関する最近の動向	講義	武輪	11月18日	火	6	天 研修センター
成績評価の方法	8	こども家庭福祉の現状	講義	武輪	11月25日	火	6	天 研修センター
	課題レポートによる。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。							
授業外で行うべき学修	現在の研究動向、社会問題について常にアンテナを張り、授業・関連テーマに関する専門雑誌の論文探索、新聞の文化欄やNHK教育テレビなどの視聴により問題意識を持つこと。							
使用テキスト	適宜、プリントを配付する。							
参考書(参考資料等)	適宜、授業において紹介する。							
その他 (受講生への要望等)	受け身ではなく、当該内容に興味を持ち積極的な姿勢で授業に臨んでください。							

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎を表します。

注3 歯科衛生士研修センター(略称:研修センター)は西館4階、第2教室、実習室は西館8階、デジタル加工室は西館6階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	医療保健政策特論演習										
科目担当	○神 光一郎、米澤 美保子、高井 裕二、武輪 敬心										
授業コード											
開講年次・学科・授業区分	1年後期～2年前期・選択										
単位数	1単位										
授業の概要と方法	「医療保健政策特論」で学修した国内外における医療・保健・福祉の制度・施策，実践に関する知識をもとに，これからの地域に根ざした歯科保健医療制度のあり方や実践について考察する。本演習では，受講生が自らが国内外で取り組まれている地域社会を基盤とした歯科保健医療や多職種連携等に関する先駆的事例を探索・調査し，その意義と課題を分析する。そして，テーマに関して討論と具体的作業によって検討・解明する。										
授業の到達目標											
	1	文献探索能力を修得する。									
	2	当該分野における統計データを読み，分析する力を身に付ける。									
	3	調査の設計，実施能力を修得する。									
	4	事例研究能力，事例分析能力を身に付ける。									
	5	成果を論文にまとめる能力，プレゼンテーションする能力を身に付ける。									
	6	歯科保健医療と多職種連携の諸課題に対する問題解決能力を身に付ける。									
授業計画（1年生） 後期開講 2025年10月～2026年3月	回	内 容			形式	教員	月日	曜日	時 限	場 所	
	1	研究テーマと調査研究計画の立案・プレゼン			演習	神	12月20日	土	1	天	研修センター
	2	調査研究計画のプレゼン・検証①			演習	神	12月20日	土	2	天	研修センター
	3	調査研究計画のプレゼン・検証②			演習	米澤	1月13日	火	6	天	研修センター
	4	研究関連の先行研究のプレゼン・ディスカッション①			演習	米澤	2月12日	木	6	天	研修センター
	5	研究関連の先行研究のプレゼン・ディスカッション②			演習	高井	1月27日	火	6	天	研修センター
	6	研究関連の先行研究のプレゼン・ディスカッション③			演習	高井	2月3日	火	6	天	研修センター
	7	研究関連の先行研究のプレゼン・ディスカッション④			演習	武輪	2月10日	火	6	天	研修センター
授業計画（2年生） 前期開講 2025年4月～2025年9月	8	先駆的事例の先駆性についての討論①			演習	武輪	6月5日	木	3	牧	社会福祉演習室
	9	先駆的事例の先駆性についての討論②			演習	米澤	6月12日	木	4	牧	セミナー室
	10	先駆的事例の先駆性についての討論③			演習	米澤	6月16日	月	4	牧	コンピュータ演習室
	11	先駆的事例の先駆性についての討論④			演習	高井	6月24日	火	6	天	第2教室
	12	論文構成(研究方法，結論・考察)の文章化①			演習	高井	7月2日	水	6	天	研修センター
	13	論文構成(研究方法，結論・考察)の文章化②			演習	武輪	7月16日	水	1	牧	社会福祉演習室
	14	論文構成(研究方法，結論・考察)の文章化③			演習	武輪	7月16日	水	2	牧	社会福祉演習室
	15	事例研究のプレゼンテーション			演習	神	7月22日	火	6	天	研修センター
成績評価の方法	演習における自らのテーマへの取り組み方，討論への参加及び成果発表の総合評価による。評価の比率は，取り組み方 0.4，討議 0.3，成果発表 0.3とする。授業担当教員の個々の評価をもとに，科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。										
授業外で行うべき学修	日頃から歯科保健医療や，地域の社会福祉システムの役割、実践について観察する習慣を持つこと。地域に根ざした他職種連携のシステムについてのイメージと問題意識を持つこと。										
使用テキスト	各自が図書館を活用し資料を収集すること。										
参考書(参考資料等)	適宜、指示する。										
その他 (受講生への要望等)	事前学習をベースに討論を行います。受け身ではなく，当該内容に興味を持ち積極的な姿勢で授業に臨んでください。										

注1 時限は、1時限：9時～10時30分、2時限：10時45分～12時15分、3時限：13時15分～14時45分、4時限：15時～16時30分、5時限：16時45分～18時15分、6時限：18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎を表します。

注3 歯科衛生士研修センター(略称：研修センター)は西館4階、第2教室、実習室は西館8階、デジタル加工室は西館6階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	口腔機能回復学特論								
科目担当	○糸田 昌隆、貴島 真佐子、今井 美季子、大森 あかね、柳田 沙織								
授業コード									
開講年次・学科・授業区分	1年・後期・選択								
単位数	1単位								
授業の概要と方法	本特論では、後期高齢者、各疾患発症者、要介護高齢者や障がい者（児）等の病期の特徴と、それぞれの病期にみられる口腔の諸問題と口腔機能低下の原因について学び、口腔ケア、口腔リハビリテーション、歯科治療などの歯科的対応の現状と研究状況を学修する。また口腔機能低下を含めた口腔保健の維持・向上と、心身機能やQOLとの関連性などの全身の健康に及ぼす影響等を理解し、ライフステージをとわず口腔保健を通じて人の健康維持増進を推進できる能力を養う。								
授業の到達目標	1	心身機能の虚弱化について説明できる。							
	2	疾患発症後の病期とその特徴について説明できる。							
	3	病院・施設・居宅での各種口腔評価を説明できる。							
	4	テーマに沿った最新の情報を説明できる。							
	5	口腔リハビリテーションの各種手法を説明できる。							
	6	口腔ケアや口腔リハビリテーション、歯科治療の健康への効果を説明できる。							
授業計画	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限	場 所	
	1	ガイダンス・口腔機能回復学概論	講義	糸田	10月6日	月	6	天	研修センター
	2	心身機能の虚弱化のメカニズム、発生機序、評価法とその対応法	講義	糸田	10月20日	月	6	天	研修センター
	3	各疾患別発症後の各期に診られる障害（がん、心疾患、肺炎、etc）心身・栄養評価	講義	貴島	10月27日	月	6	天	研修センター
	4	各疾患別発症後の各期に診られる障害（脳血管疾患、精神疾患、etc）心身・栄養評価	講義	貴島	11月10日	月	6	天	研修センター
	5	各種口腔評価の具体的方法、MDS課題分析方式を使った口腔ケアプランの立案	講義	今井(美)	11月17日	月	6	天	研修センター
	6	口腔および口腔機能に関する量的研究と質的研究の違いと研究手法	講義	柳田	12月1日	月	6	天	研修センター
	7	ケースプレゼンテーション。口腔アプローチと健康への効果に関する検証（宿題）	演習	糸田、貴島、大森、	12月8日	月	6	天	研修センター
	8	口腔アプローチの効果検証のためのアウトカム指標の整理	演習	糸田、貴島、大森、今井(美)、柳田	12月15日	月	6	天	研修センター
成績評価の方法	出席状況・プレゼンテーションを8:2の割合で評価する								
授業外で行うべき学修	課題プレゼンテーションの作成など								
使用テキスト	講義配布資料								
参考書(参考資料等)	論文作成ABC うまいケースレポート作成のコツ 東京医学社								
	MDS・RAPsの最新版 一介護保険に向けての客観的高齢者アセスメント 医学書院								
その他 (受講生への要望等)	予習を行って下さい。特に各講義のキーワードの理解を深めておくこと。								

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

授業科目	口腔機能回復学特論実習							
科目担当	○糸田 昌隆、貴島 真佐子、今井 美季子、大森 あかね、柳田 沙織							
授業コード								
開講年次・学科・授業区分	1年後期～2年前期・選択							
単位数	1単位							
授業の概要と方法	本特論実習では、実際の医療・介護・福祉分野での口腔機能低下および口腔機能障害に関わる取り組みについて最新の情報を収集し、口腔機能の回復に向けた取り組みを実際に実施できる能力を身につける実習である。また口腔機能回復へ実施した取り組みに対し、自ら客観的評価を行うための評価法を習得する。合わせて自らの臨床的課題(CQ)を設定し、調査・研究計画書を作成できるよう実習を行う。							
授業の到達目標	1	医療・介護・福祉分野での様々な心身機能評価について説明できる。						
	2	病院・施設などにおける各種連携書類を説明できる。						
	3	医療・介護現場において記録されている各種データを説明できる。						
	4	テーマに沿った最新の情報を説明できる。						
	5	自らの職務での問題点を説明し、問題点改善に向けた臨床的課題を設定できる。						
	6	臨床的課題に対するPECO、PICOを作成できる。						
授業計画 (1年生) 後期開講 2025年10月～2026年3月	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限	場 所
	1	ガイダンス・口腔機能回復学特論実習	講義	糸田	履修登録者がいなかったため 未開講			
	2	口腔機能低下症の評価法	講義	糸田				
	3	口腔の各器官の評価法(ディアドコキネシスなど)	講義	貴島				
	4	口腔機能低下症・口腔器官別評価実習(相互実習・グループワーク)	実習	今井(美)				
	5	口腔への口腔衛生管理、口腔機能管理のアプローチの実践(具体的手技など)	講義	柳田				
	6	口腔ケア・口腔リハビリテーションに関する文献検索	講義	大森				
	7	口腔が担う機能、咀嚼と嚥下、発声、呼吸に関するディスカッション(宿題:各機能に関する関連性検討レポート200字～400字と発表)	演習	糸田・貴島・今井(美)・大森・柳田				
授業計画 (2年生) 前期開講 2025年4月～2025年9月	8	各種心身機能評価の解説(各種検査の内容、看護・リハビリテーション・栄養・画像診断など)	講義	糸田・貴島	履修登録者がいなかったため 未開講			
	9	疾患別口腔ケアおよび口腔リハビリテーション実施のアセスメントからプラン作成について基礎となるSOAP形式を実際の看護記録等を用いての解説	講義	貴島				
	10	症例1.がん患者への口腔アプローチ・プレゼンテーション(宿題)	演習	今井(美)				
	11	症例2.脳血管疾患患者への口腔ケア・口腔リハビリテーション・プレゼンテーション(宿題)	演習	貴島				
	12	症例3.神経難病疾患(パーキンソン・ALS・進行性核上性麻痺)プレゼンテーション(宿題)	演習	糸田				
	13	各症例への取り組みの課題抽出・臨床的課題の抽出	演習	今井(美)				
	14	臨床的課題に対するPECO、PICOを用いて実験・研究計画の立案	演習	貴島				
	15	自己の研究についてPECOを用いたプレゼンテーション	演習	糸田・貴島・今井(美)・大森・柳田				
成績評価の方法	出席状況・レポート・プレゼンテーションを4:2:4の割合で評価する							
授業外で行うべき学修	文献検索、課題プレゼンテーションの作成など							
使用テキスト	講義配布資料							
参考書(参考資料等)	臨床研究と論文作成のコツ 読む・研究する・書く 東京医学社							
	論文作成ABC うまいケースレポート作成のコツ 東京医学社							
その他 (受講生への要望等)	レポートは論文形式、プレゼンテーションはできるだけ簡潔にまとめて下さい。							

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	先進口腔保健学									
科目担当	○柿本 和俊、橋本 正則、梶 貢三子、谷 亜希奈、秋山 広徳									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年・後期・選択									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	歯科治療や口腔ケアに用いる器材の開発経緯や新しい器材,あるいは歯科衛生士の技能についての知識を修得する科目である。歯科医療における先進医療や近年利用が進んでいるデジタル機器,高機能の電動歯ブラシ,レーザー装置,エックス線装置,情報通信装置などの器械や,セラミック材料,接着材料などの歯科材料についての知識を修得し,取り扱いや診療補助に関する知識を得るとともに,開発経緯を知ることによって,今後の研究方法について考える。									
授業の到達目標	変革する歯科医療を理解し,それに伴う歯科衛生士の役割を考える。									
	1	歯科衛生士に関わる歯科医療の発展を説明できる。								
	2	歯科における先進医療を説明できる。								
	3	新しい歯科治療機器を理解し診療補助を説明できる。								
	4	新しい歯科材料を理解し対応を説明できる。								
	5	歯科医療における画像診断の発展を説明できる。								
授業計画	6	新しい口腔ケアの方法を説明できる。								
	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時限	場 所		
	1	求められる歯科衛生士業務	講義	梶	10月3日	金	6	天	研修センター	
	2	歯科医療における研究開発状況	講義	柿本	10月10日	金	6	天	研修センター	
	3	歯科における画像診断装置の発展と利用	講義	秋山	10月31日	金	6	天	研修センター	
	4	歯科における先進医療のこれまでと現状	講義	谷	11月7日	金	6	天	研修センター	
	5	歯科材料の開発と歯科衛生士としての対応	講義	橋本(正)	11月14日	金	6	天	研修センター	
	6	歯科用レーザー装置の開発と利用	講義	柿本	11月21日	金	6	天	研修センター	
	7	歯科医療の進歩と変革に伴う歯科衛生士の役割	講義	谷	11月28日	金	6	天	研修センター	
	8	口腔ケアでのデジタル機器の利用と新しい器材開発	講義	谷	12月19日	金	6	天	研修センター	
成績評価の方法	講義時の質問に対する回答と課題レポートで総合評価する。評価の比率は,回答 0.5,課題レポート 0.5とする。授業担当教員の個々の評価をもとに,科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	講義内容を各自で復習するようにしてください。									
使用テキスト	授業中の配付資料									
参考書(参考資料等)	「レーザー歯学の手引き」デンタルダイヤモンド									
	「歯科臨床における画像診断アトラス」医歯薬出版									
	「改訂版 イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」永末書店									
	「臨床工学講座 医用情報処理工学」医歯薬出版									
	「歯科衛生士ベーシックスタンダード インプラント」医歯薬出版									
その他 (受講生への要望等)	先進口腔保健学分野を専攻する学生は,必ず受講すること。 積極的に新しい技能を学修する態度を身に付けてください。									

注1 時限は,1時限:9時~10時30分,2時限:10時45分~12時15分,3時限:13時15分~14時45分,4時限:15時~16時30分,5時限:16時45分~18時15分,6時限:18時30分~20時

注2 [天]は天満橋学舎,[楠]は楠葉学舎,[牧]は牧野学舎,研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	先進口腔保健学実習									
科目担当	○柿本 和俊、藤井 孝政、梶 貢三子、樋口 鎮央、緒方 智壽子、谷 亜希奈、橋本 典也、高橋 一也、楠 尊行									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年後期～2年前期・選択									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	先進医療の臨床の場における現状を理解するとともに歯科衛生士としての関わりを考える。また、歯科治療や口腔ケアに用いる器材の現在の研究開発状況を調査し、実習を行うことで技能の修得とともに今後の歯科衛生士に必要な技能と歯科衛生士の役割を考える科目である。「先進口腔保健学」で学修した新たな器材や技能について、学生各自が課題を持って、現在の研究開発状況を調査し、可能な範囲で実際に使用する。これらの情報をもとにして、今後の動向について自身の見解を整理し、他分野専攻の学生を含めた学生間で討議する。									
授業の到達目標	先進医療に適応できるとともに、今後の歯科衛生を担う能力を身に付ける。									
	1	歯科の先進医療の診療補助ができる。								
	2	歯科の先進医療に関する口腔ケアができる。								
	3	口腔ケアに関する学術研究や開発の調査ができる。								
	4	新しい口腔ケアの器材を勘案できる。								
	5	状況に応じた新しい口腔ケアの方法を立案・実践できる。								
授業計画（1年生） 後期開講 2025年10月～2026年3月	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限	場 所		
	1	光学印象採得による陶材歯冠修復法①	講義	藤井・樋口	1月17日	土	1	天	デジタル加工実習室	
	2	光学印象採得による陶材歯冠修復法②	実習	藤井・樋口	1月17日	土	2	天	デジタル加工実習室	
	3	幹細胞と最新の生体材料	講義	橋本(典)	1月24日	土	1	天	研修センター	
	4	歯周外科の変遷と今日の歯周組織再生治療	講義	緒方	2月4日	水	6	天	研修センター	
	5	有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査①	講義	高橋・楠	2月18日	水	6	天	研修センター	
	6	有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査②	実習	高橋・楠	2月25日	水	6	天	研修センター	
	7	インプラントにおける口腔ケアの研究	講義	藤井	3月4日	水	6	天	研修センター	
	8	訪問歯科診療用機材の開発	講義	柿本	4月12日	土	1	天	研修センター	
	9	訪問歯科診療用機材の評価	実習	谷	4月12日	土	2	天	研修センター	
	10	新しい口腔ケア器材	講義	谷	4月17日	木	6	天	第2教室	
	11	新しい口腔ケア器材の評価	実習	谷	4月25日	金	6	天	第2教室	
	12	新しい口腔ケア方法の検討①	実習	柿本・梶・谷	5月10日	土	1	天	研修センター	
	13	新しい口腔ケア方法の検討②	実習	柿本・梶・谷	5月10日	土	2	天	研修センター	
	14	新しい口腔ケア方法の検討③	実習	柿本・梶・谷	5月10日	土	3	天	研修センター	
	15	口腔ケアの将来	討議	柿本・梶・谷	5月10日	土	4	天	研修センター	
成績評価の方法	プレゼンテーション、討議参加で総合評価する。 評価の比率は、プレゼンテーション 0.5、討議 0.5とする。授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	十分な討議ができるように、時間内で充実した内容を提示できるプレゼンテーションを作成してください。									
使用テキスト	授業中の配布資料									
参考書(参考資料等)	「レーザー歯学の手引き」 デンタルダイヤモンド									
	「歯科臨床における画像診断アトラス」 医歯薬出版									
	「改訂版 イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」 永末書店									
	「臨床工学講座 医用情報処理工学」 医歯薬出版									
	「歯科衛生士ベーシックスタンダード インプラント」 医歯薬出版									
その他 (受講生への要望等)	先進口腔保健学分野を専攻する学生は、必ず受講すること。 これまで学修した知識と経験に基づいて、積極的に新たな技術を開発する意欲を高めてください。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

授業科目	口腔材料学特論									
科目担当	○橋本 正則、樋口 鎮央、藤田 暁、錦織 良、小正 聡									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年・後期・選択									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	口腔材料の開発経緯とともに新たな歯科材料についての知識を得る科目である。歯科材料の開発の歴史を振り返り、これまでの研究者の功績から今後の歯科材料開発について自ら考え示唆を得る。また、新規材料と現在開発されている材料についての情報を収集し、歯科材料開発の現状を理解する。対象とする歯科材料は、金属、セラミック、高分子、アモルファス、複合材料等のなかで歯科技工に関する材料を中心とするが、関連する材料についても学習する。									
授業の到達目標	歯科材料の研究開発についての知識を深め、今後の課題について考える力を身に付ける。									
	1	歯科材料の評価方法について説明できる。								
	2	歯科材料開発の方向性を説明できる。								
	3	歯科材料に関する論文を批判的に読むことができる。								
	4	歯科材料に関する研究論文を整理し、正確に紹介できる。								
	5	今後の歯科材料開発の課題を見出すことができる。								
授業計画	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時限	場 所		
	1	歯科材料開発の変遷と現状①	講義	橋本(正)	10月17日	金	6	天	第2教室	
	2	歯科材料開発の変遷と現状②	講義	橋本(正)	10月10日	金	6	天	第2教室	
	3	歯科修復物に要求される材料学的性質	講義	藤田(暁)	10月31日	金	6	天	第2教室	
	4	口腔治療に用いられる材料の展開	講義	橋本(正)	11月7日	金	6	天	第2教室	
	5	歯科材料開発の課題	講義	錦織	11月14日	金	6	天	第2教室	
	6	歯科技工関連材料の展開	講義	樋口	11月28日	金	6	天	第2教室	
	7	歯科技工関連材料の課題	講義	樋口	12月4日	木	6	天	研修センター	
	8	今後望まれる歯科材料について討論	討論	橋本(正)・樋口・藤田(暁)・錦織・小正	12月5日	金	6	天	第2教室	
成績評価の方法	課題レポートで評価する。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	講義内容を各自で復習するようにしてください。									
使用テキスト	特になし。必要に応じてプリント配付。									
参考書(参考資料等)	「歯科材料・器械」(日本歯科理工学会)									
	スタンダード「歯科理工学」(学建書院)									
	「臨床歯科理工学」(医歯薬出版)									
その他 (受講生への要望等)	講義内容に関して自発的に学習しておくことが望ましい。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

授業科目	口腔材料学特論演習									
科目担当	○橋本 正則、藤井 孝政、藤田 暁、錦織 良、小正 聡									
授業コード										
開講年次・学科・授業区分	1年後期～2年前期・選択									
単位数	1単位									
授業の概要と方法	歯科材料の物性、加工法、新たな応用法について、演習を通じて検討し、歯科材料についての応用力を身に付ける科目である。国内外の歯科材料及び加工方法に関する研究論文を調査し、教員の助言を得ながら整理することによって、データの整理方法、解析方法を学び、更に研究論文を批判的(critical)に読む力を養い、歯科材料開発のための課題を見つけて自己の考えをまとめ、教員及び学生間で討議する。									
授業の到達目標	歯科材料の研究開発についての知識を深め、今後の課題について考える力を身に付ける。									
	1	歯科材料の評価方法について説明できる。								
	2	歯科材料開発の方向性を説明できる。								
	3	歯科材料に関する論文を批判的に読むことができる。								
	4	歯科材料に関する研究論文を整理し、正確に紹介できる。								
	5	今後の歯科材料開発の課題を見出すことができる。								
	6	PowerPointを使用して、論文紹介のプレゼンテーション資料を作成できる。								
	7	論文紹介のためのプレゼンテーションができる。								
授業計画 (1年生) 後期開講 2025年10月～2026年3月	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限	場 所		
	1	歯科補綴学的観点からの研究法について	講義	小正	12月11日	木	6	天	研修センター	
	2	歯科理工学的観点からの研究法について	講義	錦織	12月18日	木	6	天	研修センター	
	3	生体材料としての歯科材料開発の観点からの研究法について	講義	橋本(正)	1月8日	木	6	天	研修センター	
	4	研究論文紹介プレゼンテーション①	演習	橋本(正)・藤井・錦織・小正	1月22日	木	6	天	研修センター	
	5	研究論文紹介プレゼンテーション②	演習	橋本(正)・藤井・錦織・小正	2月5日	木	6	天	研修センター	
	6	研究論文紹介プレゼンテーション③	演習	橋本(正)・藤井・藤田(暁)・錦織・小正	2月19日	木	6	天	研修センター	
	7	研究論文紹介プレゼンテーション④	演習	橋本(正)・藤井・藤田(暁)・錦織・小正	3月5日	木	6	天	研修センター	
授業計画 (2年生) 前期開講 2025年4月～2025年9月	8	研究論文紹介プレゼンテーション⑤	演習	橋本(正)・藤田(暁)・錦織・小正	4月3日	木	6	天	研修センター	
	9	研究論文紹介プレゼンテーション⑥	演習	橋本(正)・藤田(暁)・錦織	4月17日	木	6	天	第1教室	
	10	研究論文紹介プレゼンテーション⑦	演習	橋本(正)・藤田(暁)・錦織・小正	5月8日	木	6	天	第1教室	
	11	研究論文紹介プレゼンテーション⑧	演習	橋本(正)・藤田(暁)・錦織・小正	5月22日	木	6	天	第1教室	
	12	研究論文紹介プレゼンテーション⑨	演習	橋本(正)・藤井・藤田(暁)・錦織・小正	6月5日	木	6	天	第1教室	
	13	研究論文紹介プレゼンテーション⑩	演習	橋本(正)・藤井・錦織・小正	6月19日	木	6	天	第2教室	
	14	研究論文紹介プレゼンテーション⑪	演習	橋本(正)・藤井・錦織・小正	7月3日	木	6	天	第1教室	
	15	研究論文紹介プレゼンテーション⑫	演習	橋本(正)・藤井・藤田(暁)・錦織	7月17日	木	6	天	第2教室	
成績評価の方法	プレゼンテーション及び討議参加で総合評価する。 評価の比率は、プレゼンテーション 0.5、討議 0.5 とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。									
授業外で行うべき学修	時間内で充実した内容を提示できるプレゼンテーションを作成してください。また、十分な討議ができるようにプレゼンテーションの練習をしてください。特に論文中の図表については、良く理解し説明できるようにしてください。									
使用テキスト	特になし									
参考書(参考資料等)	歯学関連学会誌									
その他 (受講生への要望等)	これまで学修した知識と経験に基づいて、課題を追求する意欲を高めてください。									

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

授業科目	先進口腔工学												
科目担当	○藤井 孝政、柿本 和俊、錦織 良、樋口 鎮央、三宅 晃子、中野田 紳一												
授業コード													
開講年次・学科・授業区分	1年・後期・選択												
単位数	1単位												
授業の概要と方法	歯科技工におけるデジタル化、レーザーによる計測や加工技術の応用など、近年に口腔内装置の製作への利用が進んでいる技術の開発経緯、現状及び今後の予測を検討する科目である。歯科における開発がめざましい口腔装置の加工技術や加工装置の詳細を知る。また、コンピュータを利用した顎機能解析を通じての補綴装置の製作法、審美におけるデジタル計測機器の利用などについても新しい技術についての情報を学修する。												
授業の到達目標	歯科技工のデジタル技術の開発経緯、現状及び今後の予測を検討する。												
	1	歯科におけるデジタル技術の開発経緯を説明できる。											
	2	レーザーを応用した計測や加工技術について説明できる。											
	3	CADによるクラウンブリッジのデザインについて説明できる。											
	4	CADによる局部床義歯のフレームワークのデザインについて説明できる。											
	5	CAD／CAMを応用した総義歯製作について説明できる。											
授業計画	6	コンピュータによる顎機能解析を利用した補綴装置の製作法を説明できる。											
	回	内 容			形式	教員		月 日		曜 日	時 限	場 所	
	1	歯科技工におけるデジタル技術の開発経緯			講義	樋口・三宅		10月6日		月	6	天	第2教室
	2	生体材料と歯科技工			講義	錦織		10月20日		月	6	天	第2教室
	3	クラウンブリッジ製作法の変遷と今後			講義	藤井		10月27日		月	6	天	第2教室
	4	コンピュータによる顎機能解析を応用した補綴装置の製作法			講義	藤井		11月10日		月	6	天	第2教室
	5	レーザーを応用した計測や加工技術			講義	柿本		11月17日		月	6	天	第2教室
	6	3DCADによる局部床義歯のフレームワークの設計			講義	三宅		12月1日		月	6	天	第2教室
	7	総義歯人工歯排列へのCAD／CAMの応用			講義	錦織・中野田		12月13日		土	1	天	研修センター
	8	口腔工学の今後			討議	樋口・錦織		12月16日		火	6	天	研修センター
成績評価の方法	課題レポートで評価する。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。												
授業外で行うべき学修	講義内容を各自で復習するようにしてください。												
使用テキスト	授業中の配付資料												
参考書(参考資料等)	DIGITALDENTISTRY YEARBOOK QDT別冊												
	CAD／CAMデンタルテクノロジー 医歯薬出版株式会社												
その他 (受講生への要望等)	講義内容について自発的に学習しておくようにしてください。												

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	先進口腔工学実習						
科目担当	○藤井 孝政、樋口 鎮央、藤田 暁、錦織 良、三宅 晃子、中野田 紳一						
授業コード							
開講年次・学科・授業区分	1年後期～2年前期・選択						
単位数	1単位						
授業の概要と方法	口腔に関する新たな計測装置、口腔装置の製作方法、製作装置の応用法について、演習や実験を通じて検討し、新たな歯科技工について考えるとともに応用力を身に付ける科目である。「先進口腔工学」で学習した近年開発が進む加工法や装置について、利用法を修得するとともに、直接操作できないものについては、情報を収集して、調査結果を、教員の助言を得ながら整理して自己の考えをまとめ、他分野専攻の学生を含めた学生間で討議する。						
授業の到達目標	口腔に関する新たな計測装置、口腔装置の製作方法、製作装置の応用法について検討し、新たな歯科技工について考えるとともに応用力を身に付ける。						
	1	CADに必要な計測データを精度高く収集できる。					
	2	咬合接触到に配慮したCAD/CAM冠を製作できる。					
	3	顎運動データとCADデータを元に咬合状態をPC上の咬合器に再現できる。					
	4	局部床義歯のフレームワークのCADを行うことができる。					
	5	局部床義歯のフレームワークをCADを利用して製作することができる。					
授業計画（1年生） 後期開講 2025年10月～2026年3月	6	歯科技工におけるデジタル加工の問題点と改善策を収集できる。					
	回	内 容	形式	教員	月 日	曜 日	時 限 場 所
	1	口腔内スキャナーによる光学印象	実習	藤井・樋口・藤田(暁)・錦織	1月10日	土	1 天 デジタル加工実習室
	2	作業用模型の3次元計測	実習	藤井・樋口・藤田(暁)・錦織	1月10日	土	2 天 デジタル加工実習室
	3	ジルコニアフレームの製作	実習	藤井・樋口・錦織	2月7日	土	1 天 中央技工室
	4	ジルコニアフレームへの陶材築造①	実習	藤井・樋口・錦織	2月7日	土	2 天 中央技工室
	5	ジルコニアフレームへの陶材築造②	実習	藤井・樋口・錦織	2月7日	土	3 天 中央技工室
	6	ハイブリッドレジンCAD/CAM冠の製作①	実習	藤井・樋口・錦織	2月14日	土	1 天 中央技工室
授業計画（2年生） 前期開講 2025年4月～2025年9月	7	ハイブリッドレジンCAD/CAM冠の製作②	実習	藤井・樋口・錦織	2月14日	土	2 天 中央技工室
	8	局部床義歯のフレームワークのCAD①	実習	藤井・樋口・三宅	4月26日	土	1 天 デジタル加工実習室
	9	局部床義歯のフレームワークのCAD②	実習	藤井・樋口・三宅	4月26日	土	2 天 デジタル加工実習室
	10	汎用CADの歯科への応用①	実習	中野田	6月7日	土	1 天 研修センター
	11	汎用CADの歯科への応用②	実習	中野田	6月7日	土	2 天 研修センター
	12	バーチャル咬合器のための咬合理論	実習	藤井・樋口・三宅	6月16日	月	6 天 デジタル加工実習室
	13	バーチャル咬合器の理論の修得	実習	藤井・樋口・三宅	6月23日	月	6 天 デジタル加工実習室
	14	今後の歯科技工に関する調査	実習	藤井・樋口・三宅	6月30日	月	6 天 第2教室
成績評価の方法	15	今後の歯科技工	実習	藤井・樋口・三宅	7月7日	月	6 天 第2教室
	課題作品とレポートで総合評価する。 評価の比率は、課題作品0.5 レポート0.5とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の○印を付した筆頭教員が評価を決定する。						
授業外で行うべき学修	講義内容を各自で復習するようにしてください。						
使用テキスト	授業中の配付資料						
参考書(参考資料等)	「DIGITALDENTISTRYYEAR BOOK」QDT別冊クインテッセンス						
	「CAD/CAMデンタルテクノロジー」医歯薬出版						
	「汎用CADによるデンタルデザイン」クインテッセンス						
その他 (受講生への要望等)	実習内容について自発的に学習しておくようにしてください。						

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

授業科目	専門研究
科目担当	選択分野に基づいて主指導教員と副指導教員を決定する。
授業コード	
開講年次・学科・授業区分	1年前期～2年前期後期・必修
単位数	14単位
授業の概要と方法	選択必修とした分野の内容に基づいて、指導教員と十分討議の上で決定した研究課題について、研究立案、データ収集、分析、考察を行って、修理論文としてまとめる科目である。研究は、主指導教員と副指導教員の指導のもとで行う。研究施設・設備として、大阪歯科大学牧野学舎の施設のほかにも、必要に応じて楠葉学舎、医療イノベーション研究推進機構(TRIMI)研究実験センター及び附属病院が利用可能である。更に、所定の手続きを踏むことで、学外施設を利用することもできる。
授業の到達目標	自ら研究計画を立案、実践、整理して論文にまとめる能力を養成する。 1) 自らが研究課題を考えることができる。 2) 先行研究を調査し整理できる。 3) 研究計画を立案できる。 4) 研究計画に基づいて研究を実施できる。 5) 研究データを分析できる。 6) 研究結果を考察し、まとめることができる。
授業計画	1 ～ 8 回 研究計画の立案(演習) 9 ～ 180 回 研究の実施(演習) 181 ～ 210 回 研究論文の作成(演習)
成績評価の方法	各セメスターごとの研究経過を評価する。第2学年後期は、研究論文の審査で評価する。
授業外で行うべき学修	研究課題に関連する学術会議に出席して情報を収集する。
使用テキスト	
参考書(参考資料等)	研究課題に関係する書籍・論文
その他 (受講生への要望等)	指導教員の指導を受けながら、積極的に情報収集を行い、優れた論文を作成してください。

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。